

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しょうぶ文化芸術支援センター アムアの森 放課後等デイサービス KIDS+		
○保護者評価実施期間	R 8 年 1 月 19 日		~ R 8 年 2 月 7 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R 8 年 1 月 19 日		~ R 8 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 2 月 19 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	創作・表現活動などアートに特化した活動が充実しているため、創造性を高めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画、創作活動の時間を増やし、個々に応じた作品作りの環境や画材等の提供。</li> <li>・ しょうぶ学園の工房とのワークショップを行ったり、学園散策の活動を取り入れたりしながら、交流の幅を広げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホールやギャラリー等、法人内の資源を活用した芸術・文化活動の場の提供と地域交流。</li> </ul>
2	広々とした空間で自然に触れながら、のびのび過ごすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホールを活用することで、季節や天候に左右されず、様々な活動提供を行っている。</li> <li>・ 園内に自然が多くあるため、本物に触れながら季節感を体感できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期休暇中の野外活動の充実。</li> <li>・ 子どもたちと季節の行事を楽しむために、職員自身も日本の習わしや季節行事の知識を深める。</li> </ul>
3	法人内のしょうぶ学園との交流と児童から大人までの切れ目のないサービスの提供が可能。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源を活用し、動物とのふれあいやレストランでの食事等を行い、社会性の向上を図っている。</li> <li>・ 定期的に面談や見学会を設けながら、状況に応じたサービスの提案・提供を実施。また、児童から大人のサービスに移行する際に法人内関係職員で引継ぎを行い、安心できる利用体制を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係部署の職員、ご家族との情報共有をより丁寧に行っていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	理学療法士など専門職がおらず、専門性という部分では弱さを感じる。また、医療的ケアが必要な利用者の受け入れ体制も同様の理由で弱さを感じる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的知識や資格保持者の不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当法人の強みを活かしながら、支援者が研修・勉強会等に参加し、専門性につながる支援に取り組んでいく。</li> </ul>
2	外部(地域のこどもたち)との交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後の限られた時間での交流が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期休暇等を利用しながら、外部イベントへの参加等検討していく必要がある。</li> </ul>
3			